

総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 会 平成24年7月24日 午前10時0分
- 2 閉 会 平成24年7月24日 午後 0時7分
- 3 場 所 総社市保健センター3階 会議室
- 4 出席又は欠席した委員

出席委員

委員長	米 谷 正 造
委員長職務代理者	清 水 男
委 員	森 下 和 郎
委 員	林 直 人
委 員	小鍛治 一 圭
委 員 (教育長)	山 中 榮 輔

- 5 会議に出席した者

教育次長	松 尾 一 夫
参事兼生涯学習課長	片 岡 俊 三
参事兼文化課長	守 安 正 道
庶務課長	渡 辺 節 夫
学校教育課長	秋 山 達 郎
学校教育課指導主幹	下 山 郁 子
庶務課課長補佐	松 久 茂 喜

- 6 会議録署名委員

山 中 榮 輔	清 水 男
---------	-------

- 7 付議事件

議案第20号 平成25年度使用特別支援学級教科用図書の採択について

- 8 議事の概要 別紙のとおり

開会 午前10時0分

委員長 ただいまから教育委員会を開会いたします。

この教育委員会には、議案1件が付議されていますが、議事の都合により、本件については、「3 教育長報告」、「4 その他」の後に審議したいと思いますので、ご了承願います。

では、まず、会議録の署名委員についてであります。

会議録署名委員は、会議規則第19条の規定により、出席委員中、山中委員、清水委員の2名をお願いします。

では、教育長の報告をお願いします。

教育長 前回6月20日から本日に至るまでの間にやりましたことは、7月の初めに、小・中学校・幼稚園を全部一応回り終えました。全部回っているいろいろな先生方の話も伺い、現場も見た結果、一番感じたのは中央部は都市化が進んできて人口増加しているが、周辺部は過疎化している。当初、思っていたよりも中央部は人が増えて、学級数が足りなくなるのが早くなる可能性があるんじゃないかと感じた次第です。反面、その過疎部をどうしていくのか、環境としては非常にいいんですけれども、山田幼稚園はもう7人という状態でありまして、なかなか教育という観点からは難しくなっている状態であります。それから、設備関係が非常に傷んでいて、ここ数年間修繕をほとんどやっていないという状態で、放置することはちょっと危ないこともありますので、今その不良箇所というか、要修繕箇所、要望事項をまとめてリストにして、3年計画ぐらいでやりたいと思っています。修繕金額は、3億円から5億円の間ぐらいじゃないかと思っています。年度計画をまた作った後、ご報告させていただきたいと思っております。

7月18日に岡山県都市教育長協議会がございまして、2つテーマがありました。給食費の不払い問題と、それから土曜日授業の話。給食費不払い問題は、一番厳しくやっているところが赤磐市で、回収手順を決めて、1ステップから5ステップまであって、5ステップはもう市の部局に移して法的処置を取るということで、法的処置を講じたところはないらしいんですけれども、不払いだった方が4名払ったと。内容は、就学援助をもらいながら払わないという方が多い。その人たちは、本来就学援助の中から払うべきものを払っていないので、その教育長はもうこれは「詐欺だ」と言っていました。一番支払いが悪いのは倉敷市で、総額3,000万円近くあったのを一生懸命頑張って1,500万円ぐらいに減らしたようですが、件数も多い状態です。総社市は、かなり先生方の努力で回収しているということで、回収できていないものはもう卒業してしまった人、それからブラジル人で、ブラジルに帰った

人とかそういう人がいるんですけれども、赤磐市のようにやるかどうかは、ちょっとそれは要検討だと思いました。

それから、土曜日授業の話はこの6月の県議会で江本議員が質問されて、それに対して竹井教育長が「各市町村の教育長に検討を依頼しています」と言ったものですから、大騒ぎになったんです。我々は、その教育長協議会ではこんなことがあるんで、これから考えていこうという話はありませんでしたが、実際検討しろというふうな受け取り方は誰もしていない。結局、県が具体的に方針を出さないと何もできない。つまり、土曜日授業というのをどういう捉え方をしているかよく分からないんですね。授業時間内で考えるのか、授業時間外でやるのか、この辺がどうもはっきりしない。突然、土曜日授業と言われても、内容がはっきりしないため、何も決まらなかったという状況でした。

以上でございます。

委員長 次に、「その他」に移りますが、まず「総社市立学校規模適正化審議会の設置について」事務局から説明をお願いします。

学校教育課長 【概要説明】

総社市立学校規模適正化審議会は、条例に基づき、学識経験者や学校関係者、PTA、地域の代表で構成される機関です。

学校教育を取り巻く環境が変化し、市周辺部での過疎化と市中心部への人口の流入が同時に進み、学校規模の小規模校化と大規模校化が同時に進行していることから、教育機会の均等と教育水準の維持向上を図ることを目的に、教育効果の上がる学級規模、学校規模の適正化を審議するために設置します。

審議会では、適正な学校規模、基準、考え方、適正化の方向性について検討・審議していただき、総社市教育委員会に提言（答申）をいただく予定です。

このほか、審議会委員、今後のスケジュールなどについて説明した。

委員長 次に、「総社市立学校に勤務する県費負担教職員の「教職員の育成・評価システム」に係る苦情相談及び苦情処理について」事務局から説明をお願いします。

学校教育課長 【概要説明】

教職員の育成・評価システムは、教職員の資質能力の向上と学校組織の活性化を図ることを目的としており、自己申告による目標管理と勤務評価から構成されている。

平成25年度から勤務評価結果が給与に反映される予定で、現在その素案が検討されている。教職員は、評価結果に関することについて、各市町村が設置する苦情処理委員会に対し

て、苦情処理の申し出を行うことができる。

このほか、今後のスケジュール、勤務評価の内容などについて説明した。

委員長 次に、「岡山県中学校学力調査の結果について」事務局から説明をお願いします。

学校教育課主幹 【概要説明】

○実施校 岡山県 164校 総社市 4校

受験生徒数 岡山県 17,072人 総社市 632人

○調査結果

平均正答率（4教科） 岡山県 62.1% 総社市 65.0%

※昨年度 岡山県 59.3% 総社市 59.8%

このほか、分析・考察、今後の取り組みと改善方策などについて説明した。

委員長 次に、「いじめ問題への取り組みについて」事務局から説明をお願いします。

学校教育課長 【概要説明】

○問題行動等の実態について

○いじめの早期発見・早期対応を図るための日常的な取り組みについて

委員長 次に、「土曜日授業の実施について」事務局から説明をお願いします。

学校教育課長 【概要説明】

○県議会での県教育長答弁要旨について

○他県及び県内他市の動向について

○総社市が考える土曜日授業について

委員長 次に、「スポーツ行政の市長部局への移管について」事務局から説明をお願いします。

生涯学習課長 【概要説明】

さきの6月議会の一般質問において、赤澤議員から「そうじゃ吉備路マラソンについて生涯学習課の担当であるが、市長部局に移すか、マラソン課をつくれぬか」との質問がありました。

市長は、答弁の中で「議会、教育委員会と話し合いがつけば、マラソン課というのを市長部局に立ち上げるべきだ」と言っておりますし、これまでの議会での議論の経緯やいろんな方々との合意形成などを通して、「行政のほうにマラソン課というのをつくって、公認申請もしながら、そして安全とクオリティを上げながら、全国に誇れるマラソンをつくっていく、そういう時代に来ていると思っています」と思いを述べております。

また、教育長も、「業務の内容も増えてきて、安全対策も含めて生涯学習課でやるキャバを
超えかけているというふうに認識しております」と答弁しました。

なお、県下の状況としましては、スポーツ振興課を岡山県は知事部局、岡山市、倉敷市は
市長部局、他の市・町は教育委員会に置いております。

委員長 次に、事務局及び委員から報告があれば、お願いします。

文化課長 平成24年度第1回文化財保護審議会について及び鬼城山ビジターセンター空調
設備の室外機の盗難について報告した。

教育次長 教員の人事権に関する市長発言（夢づくりサミット）について報告した。

委員 エヴァンゲリヲンと日本刀展について報告した。

委員長 では、次回の教育委員会の日程についてであります。既にご承知のとおり、8月
20日（月）午後1時30分から開催いたしますので、ご参集願います。

この際、9月の教育委員会の日程について、事務局から提案願います。

（9月の教育委員会について日程調整）

委員長 では、9月の教育委員会は、9月20日午前10時から開催いたします。

では、最後になりましたが、議案第20号「平成25年度使用特別支援学級教科用図書の
採択について」の審議に入ります。

本件については、教科用図書に係る議案であり、案件の内容から非公開といたしたいと思
いますが、いかがでしょうか。

（異議なし）

委員長 では、本件の審議は非公開といたします。

【非公開審議】

委員長 では、これで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたし
ます。

閉会 午後0時7分